

富山大学

学園ニュース



特集 ■ 「新入生歓迎」

目 次

特集「新入生歓迎」

学 長 対 談	1
学生生活と食事	6
自炊生活と私	7
文化系サークルのすすめ	8
大学生活の花, それはクラブ活動だ	9
車 と 環 境	10
二度目のホームステイ	12
親 友	13

わたしの研究室

(人文学部)	14
(教育学部)	15
(経済学部)	16
(理 学 部)	17
(工 学 部)	18

保健管理センターだより	19
-------------------	----

留学生コーナー

新入生諸君へ	23
留学生指導相談室から	24

学生部だより

厚生関係の諸手続案内	26
------------------	----

キャンパスウォッチング	29
-------------------	----

新入生歓迎

学長対談

学生直言 学長大いに語る

司会：学園ニュースの新入生歓迎特集の一つとして、今回学生諸君が大学や大学生活について考えていることを、学長との対談というかたちで、学長との話し合いの場を設けることになりました。学生諸君は、この機会に普段いろいろと考えていることについて、学長にお聞きしてみてください。

学長：私としては、学生さんと、対談というか、会話ができれば良いな、と思っておりますので、遠慮なくお願いします。

本学の特色は・・・

学生：学長さんは、富山大学の特色をどうお考えでしょうか。

学長：今、全国に90幾つかの国立大学がありますが、専門教育と教養教育とを合わせて、本当の意味での4年間一貫教育体制を最初におこなったのが富山大学です。それはちょうど一年前からです。特に、新しい内容の科目として、たとえば言語表現科目とか情報処理科目、そして6年度からさらに総合科目も開講しま

す。

この教養教育で特に重要なことは、今までであれば専門科目だけを担当していた教官も、すべてが教養教育にたずさわる体制をとったことです。

この教育システムそのものが富山大学の大きな特徴です。もちろん、まだ始まったばかりで、改善すべき不備の点もあるでしょうが、これは誇るべきものと思っています。

学生：私は大学へ入って本当は専門だけをやりたかったのですが、教養の単位も取る必要があるため、どちらにも集中できず、結局、中途半端になったと思っています。

学長：私は、基本的には、大学は「専門バカ」をつくらるところではないと思います。高校までで社会人としての知識やものの考え方や人間性の教育が終わりとは考えません。高度な教養教育がこれからの大学に必要なだと思います。

あこがれの一人暮らし

学生：学長さんのご出身はどこですか。

学長：北海道生まれで、育ちも北海道、大学も北海道大学です。



学生：下宿はされてなかったんですか。

学長：大学時代は汽車に乗って通ってましたが、大学院に入った時に下宿しました。

学生：私は自宅から通っていますので、一度一人暮らしをしてみたいと思ったのですが、そこから生まれる友達付き合いについて、ご経験からお話していただけませんか。

学長：私の感覚ですと、一人暮らしと友達付き合いとは直接関係しないような気がします。友達付き合いについては、高校までは受験などのために、しっかり友達を作るというのはなかなか大変だと思います。一生つき合っていく友達のうち半分ぐらいは大学時代の友達です。

一人で暮らして楽しいということもありますけれども、また、つらいこともあります。どういう条件であろうが、状態であろうとも、この大学時代の生活は、自分の一生の本当に何にも代えがたい数年間です。そこで後悔しないような形を、与えられた中で考えるべきという気がします。もし、一人暮らしをしたことがないから、それをしたいというのであれば、大学をでてからでもいくらでもできます。

先生との付き合い

学生：高校時代と大学時代とでは、先生と生徒との関係も違うように思うのですが。

学長：大学では、私の知っているほとんどの先生は、生徒を監督したり進路の調整をしたりというより、どちらかというとき良き兄貴分というか、仲間、最終的には学問を芯にした仲間

付き合いということをお願いされるような気がします。

高校とは違って、大学の場合もっと先生と親しい付き合いをしていいんじゃないかと思っています。遠慮しないで研究室へ行ってほしいと思います。

一生を3倍生きる

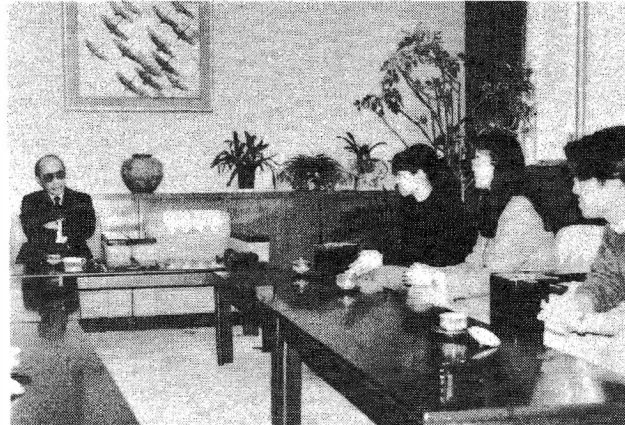
学生：先生のかっての学生生活で、あの頃もうちょっとあれをやっておけば良かったとか、あれをやっておいたから今があるといったことがありましたら。

学長：私達の頃は戦争末期でしたから、いつ死ぬか分からない時代で、人生は短いものでした。だったら、一生を3倍ぐらい生きる方法はないかと考え、睡眠時間を減らせばできるかもしれないと思いました。そこで、私は受験の頃から大学3年ぐらいまでは、1日に寝たのは4時間ほどだったと思います。勉強するときは一生懸命する。遊ぶときはよく遊ぶ。どっちつかずという感じではなく、何かという時に本当に全身でそれをやるという姿勢があれば、ある時には勉強であっても、ある時にはスポーツであっても、ある時にはクラブでも、また、ある時には趣味でもいいのではないのでしょうか。

失敗したのは、一生懸命にやろうとは思っていたけれども、あまり好きでないことには、なかなかできなかったということです。

勸（カン）の定義

学生：好きでないことに手を伸ばすことによって



自分のキャパシティを広げるということなんですか。

学長：なかなか難しいことです。たとえば「勘（カン）が良い」というのがありますね。カンとはどういうものなのでしょう。私なりの定義があるんです。それは「不確実なものも含めて、もっているいろんな情報を、非常に短い時間で総合し、ある結論を出す能力」です。能力とは、なにも持って生まれたものではなく、練習と、いかに多くの情報を持つかによると私は思っています。あなたの言ったいろんなものをひろげるという意味で、このカンを養うことが、自分を大きくするために後で役に立つと思います。

自分の人生

学生：雑学というのはどこかで役に立つというふう実感としてお感じになっているわけですか。

学長：思っています。ただ、その集める時には役に立つからといって集めたわけではないんです。

学生：集中してものごとに取り組んでいろんな知識を身につけてくださいという感じでおっしゃっているのですか。

学長：当たらずとも遠からずです。外れていません。

学生：僕は、とりあえず、いろんな事をやりたいんです。いろんな事をやっても、集中できない事とかはあきらめて、しかしある発見があるんです。これだったらできるとか。そういうのを見つけてとことんまでやってもいいと

思っているんです。ただ、それが勉強以外の事だったら…。

学長：いいんじゃないですか。私はそれでいいと思います。他人の人生じゃないんですから。

学生：私達の周りを見ると、バイトに力を入れ過ぎて授業に出なかったり、あるいは、部活でも、それにのめり込んで学業のほうか…ということもあるわけですが、集中することが大事だとおっしゃるのですか。

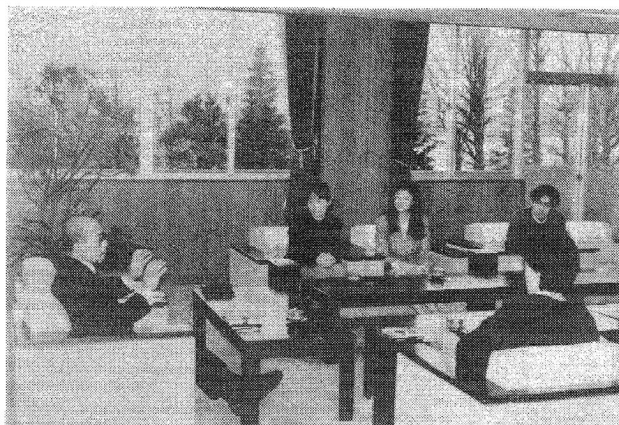
学長：私はそれでもしかたないと思います。ただ、その意味を十分考えてそうするのか、単純にのめり込むだけなのかで違います。そういう意味で新しい発見があるとすれば、立派なものだと思いますけど。

学生：自分でこれをやりたいと思っても周りの環境がそれを許してくれないとか、また、単位をとる必要もありますし、4年で卒業だというふう縛りつけられているのが多いんじゃないですか。

学長：たとえば家庭の経済状態もあるし、経済ばかりでなく心理的なものもあるでしょう。いろんな考え方があるでしょうが、どう遠回りしようが自分の人生です。自分の人生の中でやりたい事があるけれども、4年間で卒業するため今は学業に専念するということに収束したのなら、私はそれで後悔しないだろうと思います。自分で納得して、自分は人より勉強してちゃんと4年で出るので、やりたい事があればその次にやるというように。

学生：なにげなしに生活を送るんじゃなしに、主体的に生活するという事なんですか。

学長：やりたいことを見つけるというよりも、自



分の人生を一生懸命見つめるということですね。偏差値で振り分けられてきた人たちが、もう一度自分を見直して、自分はどうかあるべきかということを考えるステップとして入学すれば、そこから始めてくれればいいですね。

友達の“輪”

学生：昔の学生はよく言い合いをして、それできずなを深めたとか聞きますけど、今の学生からすれば、言ったら壊れちゃうんじゃないかという面もあります。

学長：大学では高校と違って、広く各地から来た人と、場合によっては言葉さえ違う人達と出会うわけです。そこでなにが友達かということを考える必要があります。たとえば自分が絶対に譲れない中心、即ち命をかけて守るといふのがあると思います。また、その外側に年輪のように層があって、一番外の皮はどっちでもいいんだというところですね。そこで本当に命をかけて友達になりたいなら、お互いに年輪、皮をはいで、ぎりぎりまでやらなければわからないでしょう。しかし、たとえば、まあ一緒にラーメン食いに行くとか、単に食べるとか程度の付き合いの友達なら、それは外側の2枚目ぐらいの皮を取ればそれでいいでしょう。その程度の皮だけを脱いで、あいつとは違うとか、気に入らないとかではなくて、もう少しお互いの皮を取って付き合いえば、それ以上付き合う仲なのか、ここまでなのかというのがわかると思います。もっともそれで仲良くなるとは決まりません。一生の敵になるかも知れないけれど、でも仲良く

なれるヤツというのはそういう仲間じゃないかな。

書は情報の源

司会：だんだん本を読まなくなっていると言われていています。専門書は読まなければいけないので別として、一般の本はどうですか。

学生：本は良く読みます。

学生：わりと、読書というのは好きです。

学長：皆さんは優秀なんですね。対象によって違いますが、単純な画像を次々に1時間見るよりも文字で書いたものを10分読むほうが情報量が何倍も多いんです。特に日本語の場合、漢字混じりの文から得られる情報量というのはものすごく多いです。さっき言ったカンを養うためにも、読書に勝るものは今のところないと思います。

どの新聞にも、週に一度ぐらい書評が出ます。その中で自分に合いそうな本を1週間に1冊ぐらい探して読めばいいでしょう。いろんな分野を網羅していて、最近の書評というのは結構役に立ちます。

学生：英語が世界の共通語になりつつあります。マスターするのになにかよい方法がありますでしょうか。

学長：興味を持つことです。会話だったら、たとえば衛星テレビ放送では常時、英語ではいつてきます。英語に接する機会はその他にもすごく沢山あります。私は昔、アメリカの映画を見て、その内容に感動して、そのシナリオを英語でおぼえたいと思って一生懸命読みました。その気になれば、英語に接する機会は

いくらでもあると思います。

学生：自分自身のやる気が重要なんですね。

学長：ただ、いろんな事に時間を使わなければいけない時代でもあるんです。そこだけに集中するというわけにはいかなくて、どこか別なことに使う時間を犠牲にしなければならない。

司会：そういう意味では、条件作りというか、たとえば良い組織作りを考える必要があるかも知れませんね。

学長：大学自体が出来ることは何かを、我々もまじめに考えなければいけないでしょうね。

学生：積極的に教授に相談に行けばいいんだけど、学生の方はシリゴミするんです。たとえば懇談会みたいなものをセッティングしてもらったらいい。

学長：そうですね。留学生の懇談会はあるけど。たとえば、研究室単位のコンプとか、専攻単位とかがあればいいですね。

司会：学生生活全体にわたる相談という点では組織化がまだ少し弱いですね。

学長：現在、保健管理センターに大学学生相談員制度というのがあるんですけど、あまり活用されていないようですので、それをもう少し学部単位、あるいは専攻単位でわかりやすくして、どんなことでも聞きたければ聞けるという組織にしたいと思っています。

言語表現

学生：先ほど外国語のはなしがでましたけど、私の場合は日本語が重要だと思っているんです。高校を卒業して就職した友達と会った時に、しゃべり方からして社会人はしっかりしていると思っていて、富山大学でもアメリカのよ

うにディベートの時間は設けられないかなといつも思っています。

学長：今度の新教養教育の中で言語表現科目というのが、まさにその授業です。今までの大学教育の反省のうえに立って、担当の先生も一生懸命に推進しておられます。それから、あなた自身がそのように思って自分で気をつけていることだけでもずいぶん違うと思いますよ。

学生：言葉というのは自分で話す場がないと進歩していかないんじゃないかと思っています。

学長：そうです。積極的に話すことですね。

司会：まだいろいろとお話しがあると思いますが、今日はこのくらいで、終わりにしたいと思います。

皆さん、今日はありがとうございました。

編集後記：長い時間にわたって、話された内容はずっと多かったのですが、紙面の都合で、一部割愛せざるをえませんでした。また、読者が読みやすいように、言葉づかいを直した箇所もあります。

対談日時 1994年2月21日 PM 3:10~4:30

対談場所 学長室

対談参加の皆さん

学長

土井 慶子（人文4年生）

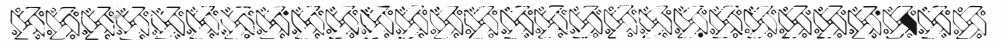
高稲 環（教育4年生）

岩田 博士（経済3年生）

内田 克哉（理2年生）

加藤 俊秀（工1年生）

学園ニュース編集委員



「学生生活と食事」

富山大学生生活協同組合

栄養士（食堂総括店長）川崎 正子

ご入学おめでとうございます。大学生活を送る上で、最も重要な部分をしめるのが食生活です。これからひとり暮らしを始める人にとっては特に重要な問題です。大学生の病気の大半は食生活の乱れによるところが非常に大きいのです。自分自身をみつめなおすいい機会と同時に、食にこだわって、体をつくって行ってほしいと思います。それにはまず、自炊を始めるのが一番ではないでしょうか。ちょっとおせっかいかもしれませんがアドバイス。食生活は、本人の主体的意識の差ができてきます。自分がおいしいと思って食べられるものから始め、必要なものが好きな時に食べられ自分の好みの味付で、同じ金を使うなら質もよかつボリュームも自分の必要にあわせて、経済的に、生活リズムをつかみながら進めていくことが大切だと思います。しかし好きなものばかりというわけにはいきません。学生生活実態調査報告や栄養指導会議その他の協議会などの示すとおり、カルシウム・ビタミンAが極度に不足、その他、乳製品・納豆・緑黄色野菜・海藻類・レバー（ビタミンA）も不足しがちです。特にビタミンは青年期には大切なもので、ストレスに対抗するのに大切な副腎皮質ホルモンを作るのになくってはならないものですし、VA（カロチン）も、ストレスによって起こる病気を抑え、貧血ぎみの女性には緑黄色野菜をたっぷり取り、これには鉄分が多く含まれています。この際、肉や魚などのたんぱく質食品と一緒にとるとより吸収がよくなります。

1日に必要なものは、血や肉となるもの（乳製品・卵・魚・豆類）、力や熱を出すもの（穀類・

油脂・砂糖・いも類）、体の調子をととのえるもの（緑黄色野菜・淡色野菜・果物・海藻）の食品の中で30種類を一日に取ることが望ましい事です。

例えば、朝に御飯+味噌汁（具は若芽とじゃが芋）+目玉焼とキャベツの千切とトマトと胡瓜、野菜にはドレッシングかマヨネーズをかけてなど+佃煮+漬物と一般的な朝食パターンですがこの中では、米と味噌と若芽とじゃが芋と卵とキャベツとトマトを胡瓜とマヨネーズと佃煮と漬物で11品目といったことになりますので、あと昼食と夕食間食とで19品目朝に食べた以外のものをとるように心がけましょう。これらのことを念頭に入れて、次に道具をそろえましょう。最小限冷蔵庫、炊飯器、オーブントースター、鍋、フライパン、とそろえれば、あとは実行あるのみ。そしてめんどくさがらず続けることが大切です。又時には、外で食べたくなってもなるべくなら定食を食べて、1品ものを中心にした“だけ食”が実に多いような気がします。これはいろいろな弊害を生みだすもとですのでぜったいにしないように。カレーを食べる時でもサラダを付けて食べればよろしいかと思います。栄養的には糖質中心になりやすいので、+野菜、+牛乳、+卵、+味噌汁と食事パターンを決め、あとは組合せによっていろいろ追加しながら、30品目を心がけましょう。そしてバランスよく食べることから始め、自分自身の健康の為に、自分のこれからの人生に向かって自律するために、頭をよくする為に、精一杯努力する価値はあると思います。ガンバってください。

「自炊生活と私」

経済学部

経営法学科3年 保坂孝哉

私は大学に入って初めて自炊をするようになりました。最初のうちはわからないことが多く、失敗することもたびたびでした。しかし、実際に3年間も自炊をやってみると、「継続は力なり」とはよくいったもので、何となく自炊のコツやノウハウが身についてきたように感じます。そこで、主として新入男子学生のために、そのコツやノウハウの一部を紹介してみたいと思います。

① 毎日自炊をしようと思うな！

当り前のことかもしれませんが、毎日自炊（特に夕飯）をしたら疲れてしまいますし、飽きもきてしまいます。まずは部活やバイトのない、時間に比較的余裕がある時だけでいいですから、自炊を始めてみたらどうでしょうか。ちなみに私の場合、週平均5日は自炊をし（夕食）、残り2日は外食をするといった状況です。

② おかずはなるべく一皿で盛れ！

おかずを一皿で盛るということは、それだけ食事で使う食器の量が減ることになります。そうすれば当然、食後に洗う食器の数が減り、そのぶん食器洗いが楽になります。思うに、食後のあと片づけは結構面倒くさいので、このような工夫は、おそらく多くの自炊学生が採用していることと想像されます。

③ メニューに困ったら「料理の素」等を用いよ！
自炊をする時、何を作ろうか悩む場合がでてくるかと思います。そのときには、スーパーの調味料コーナーをのぞいてみて下さい。そこにはたくさんさんの「料理の素」や調味料が置いてありますので、その中から自分のできそうな物を買ってきて、作ってみて下さい。例えば、マーボー豆腐の素やチャーハンの素などがそれです。そうすれば手軽に、今までのメニューとは一味違った一品に触れることができるでしょう。「料理の素」等のパッケージの裏には必ず作り方が載っており、しかも材料さえそろえれば、誰にでも簡単にできる料理ばかりだと思います。

——という訳で、あまり参考にならなかったかもしれませんが、私のささやかな自炊経験の一端を書いてみました。

とにかく、あとは実際に自炊を試してみる、それに尽きると思います。最初からうまく自炊できる人はそうはいないでしょう。失敗もするでしょう。しかし、少しずつでも続けられれば、何か手応えをつかむことはできると思います。

最後に一言。自炊をすることによって、自分の健康管理がしやすくなることはいうまでもないでしょう。また、物価、食品の安全性、「米」などの問題について、消費者の一人として考える機会も生まれます。自炊生活から得るものは少なくないと思います。



文化系サークルのすすめ

理学部物理学科 田舎中 誠

富山大学には、何種類もの文化系サークルがあります。私もそのうちの1つのサークルに所属しています。どうしてサークルに所属しているかというと、自分と同じ趣味を持った人達と共に好きな活動をしていきたいからです。自分の学部クラスにも友達はいませんが、幅広い友達の輪を広げたいと思っています。

文化系サークルとは言っても、活動内容により数多くのサークルがあります。中には、大会などに参加し、賞を取ったりして活躍しているサークルがあります。また、地域のイベントにボランティアとして参加し、地域の文化育成に貢献しているサークルもあります。或いは私が所属しているサークルのように、文化的に見ると貢献度は少ないけど、共通の価値観を持って楽しく活動しているサークルもあります。これらのサークルは中学や高校の時の部活やクラブとは違います。

違いの1つに、サークルでは自分達の好きな事に集中できるという事だと思います。受験勉強から開放され時間にも余裕ができ、すべき事はやっぱり自分の好きな事でしょう。中には熱中しすぎて、本来の務めである学業を犠牲にしている人も

います。でも大学生活4年間で勉学だけでなく、娯楽的な意味も含めサークル活動に参加して楽しむ、或いは活動に集中するのも必要ではないでしょうか。この事は文化系だけでなく体育系でも言えます。

また文化系サークルでは、高校の時のクラブのように顧問の先生はいなく、活動していく事を自分達で決め実行していかなくてはなりません。ある意味で自由ですが、ベテランのアドバイザーがいないわけですから当然問題が生じたりして、時には悩み、時にはサークル内に喧嘩などが生じたりします。そして自分達の為に解決しなければいけません。このような時は本当に辛いですが、良い経験になると思います。

富大には、サークルの名の肩書きに捕らわれた活動ばかりしている文化系サークルはありません。時にはみんなでハイキングや旅行に行ったり、或いはスポーツをして汗を流したりしているサークルもあります。また他の大学のサークルと交流のあるサークルもあります。有意義な大学生活を送るのに文化系サークルの活動に参加することをお勧めします。

「大学生活の花、 それはクラブ活動だ」

第31期体育会委員長 大谷利宏

新入生諸君、ようこそ富山大学へ。長かった受験戦争も終わり、晴々とした気持ちで、この春をむかえられたことでしょうか。初めての一人ぐらし。メインストリートでは、嵐のようなサークルの勧誘合戦。「ああ、私も大学生になったんだ」と実感していることと思います。

さて、みなさんは大学で何をやりたいと思っていますか。やっぱり学生なのだから、まずは勉強かな。でも人並には遊んでみたい。遊ぶとなるとお金が必要だからアルバイトもしなくっちゃ。何か一つ忘れていませんか。そう、スポーツです。クラブ活動です。

「クラブなんて、今までいやになるほどやってきたからもういいよ」と、ぼやいているそこのあなた。大学のクラブ活動を高校までのクラブと同じに考えてもらってはこまります。高校までのクラブは、毎日の猛練習に耐え、ひたすら好成績を収めるところを強制させられてきたと思います。大学のクラブでも、もちろん、試合で好成績を収めることを目標に活動しています。ですが、これは、あくまで団体として活動していくうえでの目標であり、活動の本質はそこだけではないのです。

「大学生活で一番大切なのは、社会で必要となる人脈作りと人格形成だ」と聞いたことがあります。そう考えるとクラブ活動は、最良の場と言えます。入部は誰からも強制はされません。クラブ

には、そのスポーツを好きな連中が集まり、自分達で練習メニューを作り、目標を立てて活動しています。また、もちろん、先輩・後輩の上下関係は存在しますが、クラブ活動での先輩・後輩ほど、いざというときに頼れる人々も、普通の大学生活をするだけでは、絶対に得られないものだと言えそうです。このように、みんなで同じ目標に向かって練習し、様々な人々とつきあっていくうちに、前よりも少しだけ、人間的に成長した自分がいることに気づくはず。そこにこそ、クラブ活動の本質があるのです。よく企業は、体育会系の人間を欲しがると言いますが、企業の観点からは、体力があるかどうかではなく、クラブ活動で養ってきた個人の人格にあるのではないのでしょうか。

現在、富山大学体育会には、準クラブも含め、42クラブが活動しています。高校までではなかったためらしい種目や非競技系の団体もあります。これだけの団体があれば、一つぐらい、興味のある団体がみつかるはず。興味のある団体がみつかるはず。

少しでもクラブに興味を持ったそこのあなた。迷わず、部室の戸をたたいて下さい。頼れる先輩達が、必ずあなたの大学生活を、勉強とアルバイトだけでない、楽しく、有意義なものにしてくれるはず。頼れる先輩達が、必ずあなたの大学生活を、勉強とアルバイトだけでない、楽しく、有意義なものにしてくれるはず。

車 と 環 境

構内交通対策委員会委員長
(理学部教授) 松 浦 郁 也

快適な社会生活を送るために車は必要不可欠なものとなり、現在、日本では2人に1人が車を持ち、この狭い日本の土地を6000万台もの車が走りまわっています。

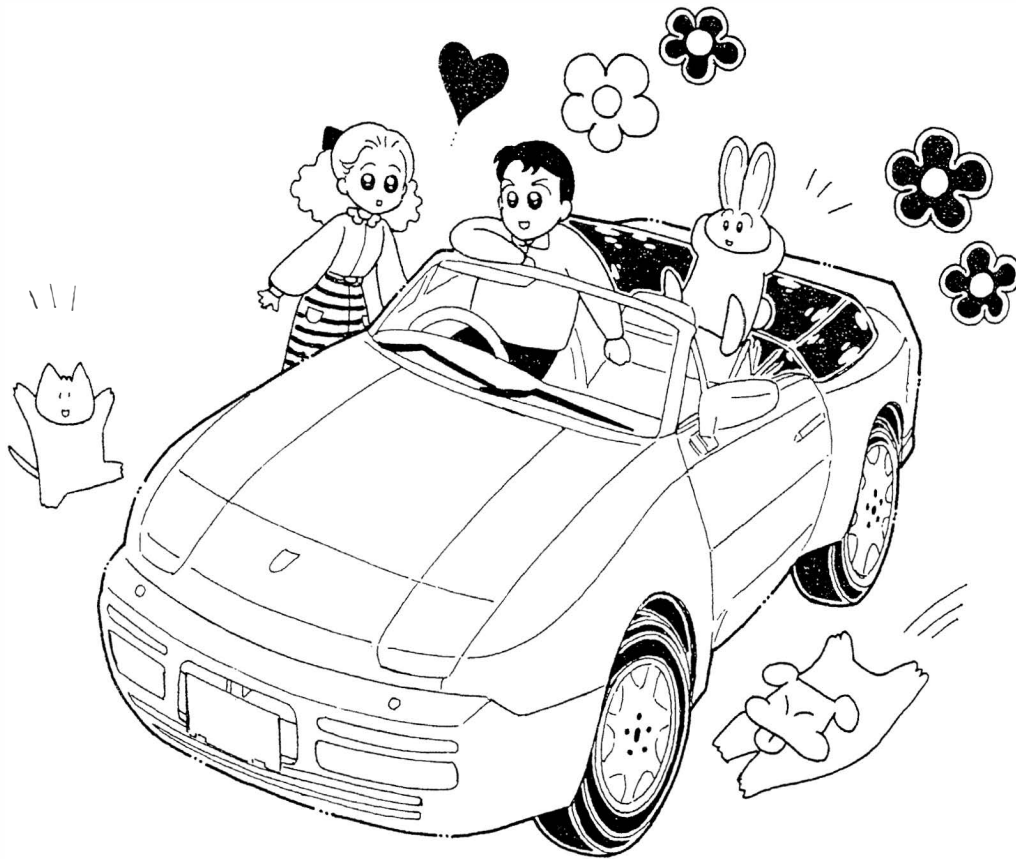
ガソリンエンジンで走る自動車は1885年ドイツのカール・ベンツとゴットリーブ・ダイムラーによって発明されたとされていますが、その時代には自動車は金持ちだけの乗り物でした。しかしヨーロッパで生まれた自動車はアメリカのヘンリー・フォードという天才によって安くて頑丈な車がT型モデルとしてコンベヤーシステムで大量生産され、1908年には車が大衆のものとなりました。

日本では、戦後、日産がオースチン（英国）、いすゞがヒルマン（英国）、日野がルノー（フランス）の自動車生産を行ない販売しましたが、国民車構想のもとで1961年に1000ドルカーとして大衆車パブリカがトヨタより発売され、ようやく自動車が大衆の手の届くものとなりました。

私は1960年に大学の職に就きましたが、その頃には中古車のルノーやヒルマンに乗る友人や、新しく販売されるパブリカを手に入れたいという友人もおり、日本でも人々が車を手に入れる事ができるまでの経済状態になっていました。数年の後、

私はオランダの大学に職を得てオランダに移り住むことになりましたが、それは新しい学問を学びたいという事のほかに、もう一つヨーロッパの車に乗ってみたいと云う誘惑もありました。オランダでの快適な自動車ライフは、1973年の石油危機により私たちの自動車ライフの考えを変えることとなりました。それは、ガソリンの配給制がとられただけでなく日曜日の車の運転も禁止される事から始まりました。私の務める大学では車の相乗りが話題になり、近い人たちで話しあって交替で車を運転して大学に通うことになりました。たまたま、昨年オランダの大学を訪問しましたが、今でも相乗りによるガソリンの節約が続けられている事を知りました。

私は石油化学と触媒化学を専門として研究していますが、石油の現状について述べると、地球上には、後3200億キロリットルしか石油は埋没されておらず、現在のペースで石油を使用していくと、後100年ほどで石油は枯渇することになります。そこで我々は石油を燃料としてではなく、生活に必要な製品として利用するように真剣に考えていかなければなりません。参考までに100リットルのガソリンで製造できる製品を記してみます。



ポリエステル製のYシャツ21着、アクリルのセーター21着、ポリバケツ18個、ナイロン製婦人スリッパ200着、自動車のタイヤ2本、これらすべてを製造することができます。

一方、化石燃料を燃焼させたときに放出される二酸化炭素によって地球温暖化が地球規模での問題となっています。つまり、現状のまま二酸化炭素が増えつづけると、21世紀の半ばには二酸化炭素濃度は倍増し地球の平均気温は約2.5℃上昇すると云われています。そのために地球温暖化防止を目的とする「気候変動に関する国連枠組み条約」が3月21日に発効されました。日本で年間排出される二酸化炭素量は2億25000万トンといわれていますが、その内の20%は自動車から排出されるものです。それらのことを考えるとき、我々は通勤・通学には公的な交通機関を利用するか、自転車や歩くことが、小さい努力ではあるけれども石油資源の節約と地球環境を守ることにつながると思います。

学生諸君へ

富山大学では、構内における歩行者の安全および環境を保つために教職員および学生にたいする入構規制を行っています。

学生にたいしては原則として自動車による通学は禁止されています。しかし、(1)身体の障疾病により自動車によらなければ通学が困難な者、(2)学部4年生または大学院生で、実験・研究のため必要であると指導教官が認めた学生で、かつ、通学距離が2キロメートル以上の者、(3)経済学部夜間コースの学生で、自動車によらなければ通学がいちじるしく困難な者。なお、やむを得ない特別の事由により、臨時または当日入構するためには、臨時入構許可書等の交付を受け入構することができます。

規則を守り、快適な環境で、楽しい学園生活を送って下さい。

「二度目のホームステイ」



工学部物質工学科
3年 宮崎 三恵子

大学在学中にもう一度だけ外国で生活してみたい、という願望が、私の心の中にありました。高校二年の春休み、交換留学生制度によって姉妹校であるミネソタ州ケンブリッジ高校に短期留学生として選ばれ、そのときに経験したあらゆる貴重な思い出が忘れられなかったのです。そして大学3年の夏休み、ついに二度目の訪米を決意し、実現することができました。私はあふれる期待で胸をふくらませ、懐しいアメリカの大地へと飛び立ったのです。

今回訪れたのは、アメリカ西部の州であるコロラドのラブランドという町でした。しかし、最初の日、私は大変ショックを受けました。なぜならば、そこでのアメリカ人の喋る英語があまり聞き取れなくて理解できなかったからです。そしてとりわけ、私のホストファーザーとホストマザーの喋る言葉が私にとって理解しがたかったのです。というのはこの町の人達は西部なまりが強く、特にホストのポールとグロリアは南部出身だったので単語の一つ一つになまりがあるのです。しかしそういった不安も、日がたつにつれて英語が理解できるようになると薄らいできました。

私はこの一ヶ月間にあらゆることを経験し、学んでから日本へ帰ろうと思いました。平日は午前中は語学研修、午後はエクスカージョンとして、あらゆる所を見学に行きました。一番楽しかったことといえば、コロラドロッキーズ（メジャーリーグ）の試合を見に行ったことです。これは今年新

しくコロラド州にできたチームで、その日の対戦チームはフィラデルフィアフィリーズでした。

このコロラド州は西部の州であり、アメリカの西部劇で見られるようなシーンを生で目のあたりにすることができました。カウボーイやカウガールによって行われる「ロデオ」も見ることができ、大変良い経験をしました。

そして何よりも感動したのはロッキー山脈の雄大さでした。私はこの一ヶ月間で四回もロッキーに登ることができ、大変感動しました。頂上までは車で行くことができるのですが、道中、野生のリスや、鹿、エルク、ビッグホーンシープなどに出会い、数々の滝、大きな岩々、雄大な大自然に触れ合うことができたのです。

コロラドでのステイを終えた後、私は一人で、前回訪れたミネソタのケンブリッジへと行きました。前回のステイ先のファミリーと再会でき、語学研修で鍛えた英語力によって、前回来たときよりも英語が上達したと言われ、非常に嬉しかったのを思い出します。残念なことに、この数年間でファミリーの様子が変わっており、前回のホストファーザーに会えなかったことが心残りとなりませんでした。

今回の経験は私にとって、あらゆる面でプラスになり、語学力の向上、そして何よりも外国で生活することによって、自分を磨くことができたと思います。

親 友



中国文学コース4年 増田昌弘

私は大学で3年間中国語を学んだ後、瀋陽市の遼寧大学に漢語進修生として留学しました。この国際化が叫ばれるご時勢であって、せっかく大学の中国文学科に入ったのに、中国語をまともに話せないままではもったいなくもあり、また情けないものでもあったので、一年間中国へ行って見識を広めるとともに、語学力もしっかり身に付けようと思い立ったのでした。

私の留学した遼寧大学には、私を含めた20人ほどの日本人留学生のほか、数人のアメリカ人、ロシア人、韓国人、フィンランド人等いろいろな国籍の人が勉強していました。中国の大学では、一般に外国人留学生は二人に一部屋の寮に住むことになっています。私ははじめに30すぎのアメリカ人と同室になりました。彼は毎日夜9時にはベットに入り、朝の5時に起きるという生活をしていて、私とは生活のリズムがまるで合いませんでした。それでも私も朝型あさがたの生活をするようにしたり何とかうまくつき合っていこうとはしたのですが、年の離れていることもあり、また言葉が通じにくかったこともあって、彼とは打ち解け合うことができませんでした。やがて、9月になって、彼は哈爾濱市の黒龍江大学に転校して行ってしまったのですが、私は彼が敬虔なキリスト教徒であるということ以外、彼のことについてくわしく知る事はできませんでした。

彼とはうまく友達になれなかったのですが、同じ年の韓国人と親友となりました。彼は韓国の大学の中文系の学生で、語学力も私と同程度であり、私とは大変気が合いました。一緒にスポーツを楽しんだり、お互いの国のことや中国での生活のことについて話し合ったり、一緒に旅行にいったりと、大変有意義な時を過ごしました。はじめに同室となったアメリカ人とうまくいかなかったことは悔やまれて仕方がないことですが、私はこの一人の親友を持てたことで、今度の留学は大成功だったと思います。彼は真の友情について次のように語ってくれました。

相手のことを尊重し、僕のために遠慮なく非難してくれる者。たとえそれが不愉快なことであっても、それが僕のためを思ってしてくれたことであるならば僕は嬉しく思う。どうか僕を信じてほしい。たとえ君が僕を傷つけるようなことを言ったとしても、それは君が敢えて僕のために忠告してくれたことであると僕も信じているから。

僕たちの友情はそんなヤワなものではないはずだろう？

そう言うだけであって、彼は調子に乗って耳に痛いことばかりずけずけとやってきます。たいがいにせえよ、と思いながらも日本人の間でも得難いこの親友を大切にしていきたい、そう思いました。

私の研究室

東洋史学研究室

(人文学部)



東洋史学コース3年 八幡美雪

こんにちは、人文学部東洋史研究室です。私たちのコースは、アジアの様々な歴史をいろいろな角度から研究しています。

まず研究室の構成員を、東洋史らしく中国の政治機構風に紹介します。(何時代かは考えないでください。)

挙人(受験生)の二年生15名は、更なる上を目指し、日夜勉強に励み、進士(公務員予備軍)三年生12名は、単なる下っぱとして日々こき使われています。尚書(大臣)の四年生9名は悠々自適な生活を送り、内閣大学士(総理大臣)の院生2名、翰林学士(学者)の研究生1名、聴講生1名、外国人学者1名は、研究三昧の毎日を送っています。

皇太子の谷井先生は、アウトドアが大好きな愛妻家でいらっしゃいまして、皇帝の氣賀澤先生は、鬼のように優しい専制君主におわします。天帝(中国の神様)の小谷先生は、忙しい中でも私たちを見守ってくださる本当に神様のような方です。

最近東洋史の学生は燃えています。去年の十月

末には、三年生を中心に京都へ行き、殷周の青銅器を見、比叡山にも登りました。また四月の忙しい時期に、二週間の中国渡航という暴挙にでる人たちもいます。これは燃える闘魂氣賀澤先生の影響によるものようですが、果たして無事に帰ってくるでしょうか。

もちろん研究室内でも燃えています。演習前日には、みんなでノートを見せあい、漢字を教えあい、夜中まで予習し、当日は眠った人を起こしあい、先生とあえて視線をあわせないようにして乗り切ります。みんな本当に真面目に勉強し、真面目に取り組んでいます。

最後に今年の東洋史研究室の目標を言います。まず四月の中国渡航者に引き続き、現二年生を中国に行かせ、本場の空気を生で体験させること。そして春・秋二回行われる人文学部球技大会のソフトボール、バレーボールで優勝し、三人の先生から単位をもらうことです。今年は昨年以上に燃えて、研究室を更にもりたてていきたいと思えます。

経済学研究室・市川ゼミ

(教育学部)



小学校教員養成課程

社会専攻4年 津幡善子

我が経済学ゼミは、教育学部社会専攻教室に属しています。教室は社会科教育法のような教科教育系、哲学・地理学・歴史学等の人文科学系、法律学・社会学・経済学等の社会科学系の諸分野を、広くカバーするユニークな特徴を有しています。ですから我々は一つ（あるいは複数）の研究室のゼミに所属しながら、専門分野を深く、そして幅広く研究することができるのです。

さて我がゼミは、2年生から4年生まで計6名から成る少数精鋭集団(!)で、皆、将来は、教員になることを当然(?), <夢見て>います。そんな6人の面倒をみて下さるのが我らが市川文彦教官です。先生は30歳を若干越えたばかりの、教室でも指折りの若手教官。この先生を戴き、ゼミでは新入生歓迎の恒例「氷見で新鮮な海の幸を味わおうツアー」(但し工場見学付き)や「卒論完成祝勝会」, 「さよなら4年生コンパ」等、様々な行事が執り行なわれます。御自ら陣頭指揮する先生の姿をみるにつけ、我々ゼミ生は「若いっていいなあ…」と呟きつつ、師の後を追うようにして、行事に参加するのです。

肝心の演習は、毎時間、1冊のテキストの一定範囲について、全員が作成してきたレジュメを、

発表し合いながら進められます。用いられるテキストは経済学の基礎理論、日本経済論に関するものです。先生は我々の水準を考慮しつつ、テキストを選んでおられますが、毎度のレジュメ作成には、(正直なところ)四苦八苦しています。

以上と並行して、ゼミ生各自が取り組むのが、個人研究レポートです。4年生は卒論の中間報告として、3年生は地域経済・産業等を中心に自由にテーマを選び、半年以上の時間をかけ、後学期開始時までにはレポートを作成します。このレポートは、卒論よりは小振なものですが、3年生にとっては卒論の「予行演習」となるものです。それゆえ、皆、一生懸命に準備します。しかし、研究へのあまりの情熱からか(?), その提出期限が守られたことは、未だかつて殆どありません。そしてこのレポート作成を糧にして、ひと回り大きくなったゼミ生は、いよいよ、晴れて卒論に着手するのでした。

毎年、3月が来ると立派に一人前になってしまう、あの市川ゼミOB・OGが誕生するかげには、このような永き熱きドラマが、秘められていたのです。こうして社会専攻・経済学研究室の一年は、今年もまた慌しく過ぎていくのです…。

大学という特殊な空間 の中におけるオアシス (酒井ゼミ)

(経済学部)



夜間主コース4年 広瀬清治

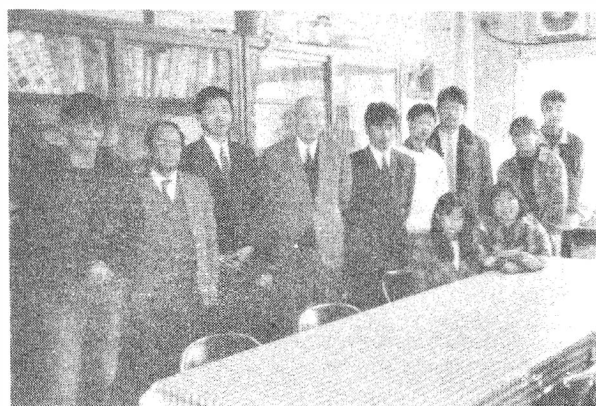
私は物心がつき、小学校から始まる学生としての生活の中で必ず思い出に残る教師・クラス・友人との出会いがあった。小さい頃は内向的で、あまり喋らない性格だった事で友達からからかわれても何も言わない方だった私を、何かにつけて気にかけてくれた先生がいた。毎日暗くなるまで野球をして遊んだ友達がいた。高校時代は、独特の話口調を持つ先生の物真似をして、クラス全員で大笑いしながら先生をからかった事もあった。だから自分のクラスの人の名前は必ず覚え、先生の事についても授業中や休み時間、放課後など直接的、間接的にいつも接し、気に入った先生にしる、そうではない先生にしる、私の頭の中に確実に残った。

しかし、大学は違った。当たり前の事かもしれないが、その事が私にとってまず最初に受けたカルチャーショックだった。私は経済学部・経済学科に所属したが、今まで経験してきたような「クラス」という概念は当てはまらなかった。授業カリキュラムに沿った淡々とした時間の流れの中での講義風景が、知らないうちに「クラス」とはかけ離れた所に私を置き、「このまま何にもする訳でもなく、アルバイトだけ頑張っただけ卒業して行くんだろうなあ…」その程度に考えながら2年が過ぎた。

3年になり、何の気なしに「酒井教官」のゼミを受講する事になり、所定の教室に行ってみると、そこには「クラス」があった。太鼓腹が妙に目立ち、眼鏡をかけている所が知的さを際立たせる教官、農業技術センターで知識を磨きリーダー的存在の馬田さん、姐御肌でゼミの男ども（私を含め、森や今村）のたるんだ根性に一撃を喰わす中川さん、結婚して幸せとは何たるか？…を世に知らしめた稲垣さん改め中西さん、はきはきとした喋り方で笑顔のきれいな窪さん、私は大学に入って初めて「クラス」・「クラスメート」・「先生」の存在を実感した気がした。ゼミにおいては先生と馬田さんの間に繰り広げられる専門用語のオンパレードにビビりながらも、「寂しがりや」の私は何とか話題に入れてもらおうと訳のわからない屁理屈をこね、「よっしゃ！ここで一言喋っておいたからこの後の話題の布石になるぜ」…とマヌケな私がそこにいた。コンパでは、皆でうまい酒や料理を吟味し、いつも先生と同伴で来る先生自慢の奥さんと娘さんの綺麗さと可愛らしさをプラスし、そこに「家庭的」な一面も垣間見られる、正に皇室報道で言うところの「ほのぼのとしていて微笑ましく、仲むつまじい」ところの「酒井ゼミ」なのである。

反応物性化学講座 松浦研究室

(理 学 部)



理学研究科化学専攻1年 林 清 明

理学部1号館2階の北側、ちょうど経済学部に面した私達の研究室、松浦研究室があります。松浦先生、高安先生の下、日夜研究に勤しんでいます。私達の研究室の目的は天然ガスや最近問題になっている二酸化炭素の有効利用に役立つ新規触媒の開発です。いわゆる触媒化学という分野の研究を行っているのです。触媒と言われてもぴんときないかもしれませんが、私達の身の回りには触媒を用いて石油から合成されたものを材料にして作られた物や、触媒自体を取り入れた物がたくさんあります。衣服、メガネ、ポリ容器やごみ袋、電気製品から自動車の排気ガス浄化、冷蔵庫の脱臭用といった具合に様々です。今や触媒は、私達が毎日の生活を送るために無くてはならないものとなっています。そこで私達も触媒についてより知識を深め、触媒を有効に利用するための研究をしているのです。

現在、先生の研究室では大学院生6人（私もその内の1人ですが…）、4年生4人が研究を行っています。天然ガスであるブタンやプロパンなどの炭化水素を原料にして無水マレイン酸やアクリロニトリル、メタクリル酸といったより有益な材料を合成するための有効な触媒の研究、地球温暖

化の主な原因となっている二酸化炭素やメタンの削減とその有効利用に着目し、二酸化炭素をメタンによって還元する触媒についての研究をしています。私達は多くの実験装置に囲まれて、知力と体力を思う存分発揮できる恵まれた環境にあり、朝9時から夕方6時までコアタイム、それ以外の時間は学生の意志に任せたフレックス制がとられています。

また日々の活力を得る場として、また研究以外での先生とコミュニケーションの場として午後3時にはお茶会を開いています。そこでは皆が和やかなムードの中で話に花を咲かしています。これは本当の話です。そして夏には海や山または遊園地へ、冬には研究室恒例の志賀高原スキーツアーに出かけ、また先生のご家族と一緒に花見やクリスマス会を開くなど研究室内の親睦を深め、楽しく有益な研究生生活を送っています。

そして私達は世界を驚かせることが出来るような新規触媒を開発して研究室の名を高めると共に自分自身に満足のいく研究成果を出すことを目標にして頑張っています。これが私が所属している研究室です。

物質化学Ⅲ 西部研究室

(工学部)



工学研究科工業化学専攻
2年 市川 良雄 & 中村 順和

現在、我々の研究室には、西部先生、蓮覚寺先生、中村先生の3人のすばらしい先生がいらっしゃいます。所属する学生は、M2が2人、4年生が11人です。この研究室では、化学ではちょっとマイナーな無機化学（主に電気化学）の研究をしていて、この講座も前まではその名のとおり無機工業化学という名を持っていたのでありますが、新しく物質化学という名前に変わってしまいました。ところで、皆さんは電気化学というものをご存じでしょうか？それは、皆さんが日頃使っている電池などの身近なものから電解工業のような大規模なものまで幅広くかかわっています。したがって、この研究室ではアルミニウムの着色（アルミニウムに色を付ける）、合金の電着、電池の開発、オゾンの電解発生や機能性超薄膜の一見全く関連性のないような5つのテーマに関して様々な研究が行われています。しかし、それらは電気化学という大きな枠組みの中に含まれるのです。その中からアルミニウムと電池について説明しましょう。アルミニウムは軽量で加工しやすいので様々な製品に用いられています。しかし、アルミニウム自体は酸化や腐食を受けやすいので硫酸電解液中で陽極酸化させ、表面に酸化皮膜を生成させています。この時得られる酸化皮膜は多孔質であるのでこの微細孔を利用して商品価値を高めるために皮膜の着色を行っています。

皆さんが見られているアルミの玄関の扉などはこのような方法で着色されています。一方、電池はマンガン乾電池に代表される1次電池と鉛蓄電池に代表される2次電池のふたつに分けることができますが、本研究室では正極（プラス）活物質にヨウ素、負極（マイナス）活物質に亜鉛を使用した2次電池に関する研究を行っています。電池の充電および放電時における挙動やサイクル実験から安全、軽量で効率の良い電池の作製をめざしています。この電池が実用化されれば、自動車のバッテリーや夜間の余剰電力の蓄積などに利用され、皆さんの目にふれるようになるでしょう。また、当研究室では産業研究実践講座を開講したり、企業と共同研究を進めるなど精力的に研究を行っています。

以上、研究内容についてわかってもらえたと思いますので先生方の紹介をしましょう。西部先生はとても温厚で、しかも、いざというときには必ず助けてくれる心強い先生です。蓮覚寺先生はスーファミなどのゲームが好きでFFⅥの発売を心待ちにしているなど学生と年齢差を感じさせないすばらしい先生です。中村先生は当講座のマドンナ的存在でいつも明るくて優しい先生です。こんな優しい先生方に指導されて4年生たちは今、おのおの1年間の研究を卒業論文としてまとめあげるために日夜努力しています。

保健管理センターだより

はじめに

新入生の皆さん、大学生活は、勉学の面でも人間関係の面でもこれまでとは大きく変わります。だから人にいえないようないろいろな悩みもできます。保健管理センターはあくまでも諸君のプライバシーを護りながら、精神的および肉体的な問題についての相談相手になるために設けられており、そのための専門家もおります。何でも一人で悩まず、気軽に来て利用して下さい。

(富山大学保健管理センター所長)

相談室の窓口から

助教授

カウンセラー 高尾 テルノ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、大学の合格を知った時、または合格通知を手にした時、何を感じ、何を考えましたか？

たとえば、◇自分の好きなことを伸び伸びとやろう、◇クラブ活動やスポーツに時間をかけよう、◇友だちを多く作り、人生について、または恋愛について大いに語りたい、◇自分の関心・興味のあるものについて調査・研究を深めていきたい、◇別に何も考えなかった、◇その他。いずれにせよ期待に胸ふくらませて今日の日を迎えられたことと思います。

しかし、大学4年間の間には、すべて期待通りにはいかないことが多くあり、不安や心配そして様々な悩みにとらわれることがあります。

青年期においては、多様化した価値観や人生観の氾濫の中で、将来の生き方に疑問を感じたりすることは当然であり、青年期特有の自立への焦りや、新たな友人関係などで、悩みが増えてきます。これらの問題解決のために戸惑い、学業への道を見失ったり、孤立して自分の殻に閉じこもったりする人が出てきます。また恋愛や性の問題でひとり苦しむこともあり、時には爆発的な衝動に駆られることもあります。

「学問とは」「教育とは」「人生とは」といった大きな問題から、日常の些細な問題にいたるまで悩みの種はつきません。

悩みがあるからこそ人間なのです。

相談室での来談内容の例(項目)を挙げてみますと、◇修学・進路の問題、◇精神的問題、◇経済的問題、◇生活上の問題(下宿、寮)、◇対人関係の問題、◇身体的な問題、◇クラブ・サークルの問題、◇アルバイトの問題、◇その他。学生相談室は、この様な皆さんの個人的な問題の相談に応ずるために設けられています。どんなことでも遠慮せずに相談してほしいと思います。お互いに人間同士として話し合い、相談しているうちに、解決の糸口の見つかることがしばしばあるものです。

とにかく何か問題が生じたなら、具体的な問題でなくても、漠然とした不安など皆さんにとって判断に苦しみ、助言を求めたい問題がありました時には、ひとりでくよくよ悩まずに気軽に来所してください。また、いろいろの事情で相談室に来れない場合は、電話相談もおこなっていますので0764-32-5494番、または0764-44-2802番ヘダイヤルを回してください。

特に、親元を離れてひとり暮らしをする人は、規則正しい生活のリズム(活動と睡眠、運動と休息のバランス)を心がけ、そしてバランスを考えた食生活をしてほしいと思います。

人との出会い、自然との出会い、そして書物との出会いを大切にして、学びながら謙虚に生き、学ぶことに喜びを感じ、学べることに感謝しながら「今」何をなすべきかを考え、大学生活を有意義に過ごしてほしいと思います。

健康診断について

大学での学生生活は、身体的にも精神的にも著しい変化の時期です。高校時代とは生活環境も異なり、なにかにつけ自由な気分になると思います。

諸君の多くは親元を離れて生活することになり、そのために不摂生を重ねたりすることがあるかも知れません。また、コンパ等での飲食の機会もあるでしょう。自分自身の酒量も知らないまま、イッキ飲みで救急車のお世話にならないように気をつけて下さい。“健康”であることが学生生活の基盤であることを認識し自らの健康管理と保持、増進に努めて下さい。

また、校内には諸君の健康管理にたずさわる機関として、「保健管理センター」が設置されています。身体の調子が悪かったり、心配事等ある場合は一人で悩まずこの機関を十分に活用し、快適な学生生活が送れるようにして下さい。

健康管理の一つとして、春の定期健康診断があります。日程は下記の通り行います。

定期健康診断日程

対象学年	月日・受付時間	学 部	実施場所	検診科目
1年生(学部)	4月13日(水) 13:30~15:00	人文学部・理学部	学生会館	内科・血圧・検尿 計測(身長・体重)
		経済学部	経済学部	
	4月20日(水) 13:30~15:00	教育学部	学生会館	
		工学部	工学部	
在 学 生 (院生も含む)	4月27日(水) 13:30~15:00	教育学部	学生会館	内科・血圧・検尿 計測(身長・体重) 《卒業修了予定者 について、胸囲 測定及び眼科・ 視力・色覚検査 を行う》
	5月11日(水) 13:30~15:00	工学部		
	5月18日(水) 13:30~15:00	人文・理学部		
	5月25日(水) 13:30~15:00	経済学部		

- ☆ 聴力測定 ☆ 対 象 → 卒業・修了予定及び大学院進学予定者
 ☆ 期間・時間 → 5月30日～6月17日 13:30～15:00
 ☆ 場 所 → 保健管理センター検査室

定期健康診断は、学校教育法、学校保健法に基づき行うもので、法律で義務づけられているばかりでなく、自己の健康を管理するためにも、必ず受診してください。なお、指定日に都合が悪い場合は、保健管理センターに連絡のうえ別の日に受診してください。予定日以外に、改めて健康診断は行いません。また、就職、進学等に必要な健康診断書発行の資料となるのです。原則として健康診断を受けていない人は保健管理センターからは証明書を出しません。

(保健管理センター事務室)

内 弁 慶

保健管理センター

教授 中 村 剛

隠居：おや、ハ^はっつあんかい。春だというのに元気がないねえ。どうしたんだい。

八：いえ、てえした話じゃねえんですがね。あっしの兄弟分にゴーというのがいるんで。

隠居：八の兄弟分に五たあ面白い。

八：五じゃなくてゴーなんでやんすが、そいつがでえがくの保健管理銭湯とかいうところで働えてるんです。

隠居：銭湯じゃなくてセンターだろ。

八：そうかもしんねえ。あすこにゃあ脱衣籠が3つしかねえもんな。

隠居：大学といえば、入学式の季節だな。

八：そこなんですよ。やっこさん、なんでも新入りの学生向けに祝いの挨拶を書くつもりが、上手くいかねえってんで青息吐息。

隠居：それでお前も元気がないのかい。まあ、考えてみれば無理もないな。ほかの持ち場で働いてるお人なら、〈外国語を習得して国際貢献を！〉とか、〈無公害自動車の開発を！〉とか、威勢のいい言葉で学生さんを激励できるってもんだ。そんなのに続いて、保健管理センターの、〈悩みごとをどーぞ！〉なんてのは、暗くっていけないね。一気に調子が外れちまう。リレハンメルは日の丸ジャンプ団体、最後の跳躍みてえなもんだな。

八：そいで、やっこさん、よせばよいのにワープロにハつ当り。天井めがけて放り出したら、こいつが落っこってきて脛に当り、さっきから寝込んでまさあ。なんでも、ケリガン症候群とか言ってやした。

隠居：ワープロの機種はハーディングと書いてえんだろうが、痛いわけだ。なんてったって弁慶の泣きどころ。

八：弁慶といやあ、やっこさん、常日頃、口せえ開けば〈おれはでえがくの弁慶だ〉なんて抜かしやがるが、その意味がどうにも分かんねえ。そいで、口の悪いのが、〈あんな歯の抜け落ちたやせっぽっちなんざあ、無^む歯^し脂肪^{ぼう}

弁慶だ〉なんてね。

隠居：人は見掛けで判断してはいけないよ。昔から『大賢は愚なるが如し』というからな。弁慶のたとえもあたしには分かるような気がする。

八：あっしにゃそんな難しいこたあ、闇夜のガラスだ。それより、弁慶についてちょっくら話してもれえやせんか。

隠居：比叡のお山に武蔵坊弁慶という坊さんがいたんだな。願かけに刀のコレクションをおっぱじめたんだが、千本目に出会った相手が運悪く源九郎判官義経。八なんぞにゃあ分かるまいが、これが世にいうマーフィーの法則。

八：真冬の蠟燭^{ろうそく}？ 火鉢の方があったけえや。

隠居：降参した弁慶は義経の家来になった。それで源平の合戦には連戦連勝。

八：その源平の合戦たあ、いってえ、どんなもんだったんでやんすか。

隠居：源平の合戦は方々で戦われたんだが、義経軍のおもな出番は、一ノ谷、屋島、壇ノ浦といったところだな。

八：一ノ谷では誰が手柄をたてやした。

隠居：なんととっても義経^{ひよどりごえ}だ。鴨越^{きかおとし}の坂落、背後から不意打ちをかけたから、平家は総崩れになった。可哀相なのが十六歳の平敦盛、逃げそくなって熊谷直実^{むねなり}に首を取られちまった。

八：屋島の合戦は、どんなあんべえで。

隠居：平家方じゃあ、能登守教経^{ののり}がべらぼーに強



いんだが、義経を狙った矢は間違っつづのふて佐藤嗣信つぎのふに当たっちゃった。

八：そいつあ、失敗ジャンセンとくらあ。もっと景気のいい話がききてえもんだねえ。

隠居：日も西も傾く頃、目も鮮やかに飾りたてたる小舟一艘、みぎわに向けて漕ぎ寄せたり。

八：よう、名調子！

隠居：こはいかにと見るほどに、舟のうちよりヘア・ヌード、よひ十八ばかりなる、宮沢りえと瓜二つ、くれない紅の地に金色の、日の丸をば描いたる、扇を一つ指し示し、が陸を向いてぞ招いたる。

八：こりゃあ、たまんねえ。参った参った。

隠居：バカ、照れるのはあたしの方だ。この扇を見事に射落としたのが那須与一、日本一の弓取りだ。

八：壇ノ浦では。

隠居：負けちゃったが、平家の方がやけに勇ましいんだな。なにしろ命懸け、お前流に言うなら、いたちの最後っぺときたもんだ。勝った方の源氏は芽えないんだな、さっぱり。

八：てやんでえ、義経の八艘跳びってのがあらあ。

隠居：それがマスコミの偏向報道ってやつだな。能登守教経に追っ掛けられて、舟から舟へと逃げまわった結果が八艘跳びになっただけのことだ。

八：じれってえな。弁慶の話がちっともでてこねえ。

隠居：いくさ場での弁慶さんにはこれといった手柄話は見当らないな。

八：というこたあ、なんですかい。弁慶ってえなあ、見かけ倒しの糞坊主。臭えばかりのパラパラ・パラ米。なんの役にもたちゃあしねえ。

隠居：もともと弁慶は平和主義者なんだな。背負のこってる七つ道具を見てごらん。鎌、鋸、槌、斧、熊手…。

八：なあーる。いくさの役にゃあ、たたねえや。

隠居：弁慶の本領は義経がピンチになってから発揮される。

八：ちいとは役にたちやすか。

隠居：少しどころじゃあない。頼朝、義経、おん仲不和になり給い、義経主従一行は、旅の衣は篠懸すげの、山伏姿に身をやつし、奥州さして落ち給う、露あせけき袖やしおるらん。

八：調子がいいが、難しくっていけねえ。ご隠

居さん、普通に話しておくんなせえ。

隠居：一行が安宅の関にさしかかった時のことだ。関守の富樫とみぎが強力姿の義経を疑りだしたからさあ大変。お前が弁慶だったらどうする。

八：なあに、かめえやしねえ。関所の一つや二つくれえ、破って通っちゃう。

隠居：弁慶は思慮深いお人だ、先々のことを考える。義経をめった打ちにしたうえ、勸進帳まで読むふりをして疑いをはらしちゃった。

八：怒った義経、弁慶をお手打ちってやつだ。

隠居：落ちぶれたりとはいへ、義経は源氏の総大将。窮地に陥った自分を救うために、弁慶が心を鬼にして演じてみせた大芝居だ、くらしいのことは、とっくに承知のすけだ。お手打ちどころか、弁慶の知恵と機転をおおいにお褒めになった。

八：ハハハ、読めた。義経が張り切ってるときにゃあ、弁慶の野郎、目だたねえように、目だたねえようにと動いてる。ところがどっこい、人間てやつあ、調子のいいときばかりが続くたあ限らねえ。

隠居：いつも調子がいいのは、お前くれえのもんだな。

八：まぜっかえしちゃあいけねえ。義経が落ち込んで大ピンチ、こりゃあたまらんというときに本領発揮なんて、泣かせるぜ。弁慶さまはやっぱり偉えもんだ、あっしの思った通りだ。

隠居：お前の兄弟分が大学の弁慶だって言ってるそうだが、八、もうその心が分かったろう。

八：いまひとつ、腑はらに落ちねえ。

隠居：義経を学生さんに置き換えてみな。簡単に謎が解けちゃうだろう。学生さんが元気にやってる間は、弁慶は目だたない。ところが、困ってる学生さんには弥勒のような救いの手をさしのべるっていうわけだ。

八：さすがご隠居、御陰でよく分かりやした。

隠居：ところで、そのゴーとかいうお前の兄弟分にお会いしたいもんだな。こんど一緒に遊びに来てくんないか。日曜日はどこかへお出かけの予定でも。

八：なあに、やっこさん、滅多に外に出やしねえ。

隠居：なぜだい。

八：だって、あいつあ内弁慶だ。

留学生コーナー

新入生諸君へ

留学生指導相談室長

(富山大学学生部長) 浜谷 正人

イギリスには確か「ドーバー海峡を渡ったからといって、ロバがラバになるわけではない」という古い諺がある。ドーバー海峡とは、イギリスとフランスの間にある海峡で、両岸にはドーバー（イギリス）とカレー（フランス）が対峙していることは周知のことであろう。因みに、誇り高いフランス人はドーバー海峡をカレー海峡と呼ぶ。だから近年では英仏海峡と呼ばれることが多くなった。目下、この両港湾都市間を結ぶ長大な海底トンネルが掘削中で、この英仏海峡トンネルによってロンドンとパリとが高速鉄道で直結される日も間近と聞く。今は専ら飛行機で両都市間は結ばれているが、かつては船で海峡を渡る他なかった。諺はこの時代のものである。イギリスの青年たちにとっては、ドーバー海峡を渡るとは、即ち外国に留学（または旅行）するということと同義であったのである。

ドーバーに降り立ったイギリスの青年たちは皆、外国留学を目前にして心を高揚させたに違いない。そういう青年たちに対して、留学への安易な期待を諫め、留学中の努力の不可欠なことを説いたのが、この諺ではなかったかと思う。外国に行ったからといって、〈ロバ〉が〈ラバ〉に変わる、つまりは別人のように成長するとは限らないということである。そこでのご過ごし方いかんでは、〈ロバ〉が〈ロバ〉のまま帰国することもあるということであろう。

今年も世界各国から多くの青年たちが、島国日本に〈ドーバー海峡を渡って〉きたことであろう。

本学でも数多くの留学生を迎えることになった。まずは諸君の入学を祝したい。本学の留学生は昨年度末で140余人に達しており、今後ともさらに増加し続けるものと予想される。このような実情に対応すべく昨年、「留学生指導相談室」なるものが設置され、留学生諸君の生活・勉学上の相談に応じる体制が整えられた。どうか遠慮せず十分に活用して、富山での留学生生活を快適かつ有意義に過ごしてもらいたいものである。諸君にとって富山が生涯忘れられない、懐かしい思い出に満ちた場所（できれば第二の故郷ともいべき場所）になることを期待する。

一方、日本から〈ドーバー海峡を渡る〉学生も近年急激に増加しつつある。本学でも海外への留学（研修）生は、6カ月以上の留学・研修に限ってみても、平成2年度はわずか5人に過ぎなかったものが、平成3年度には14人に、さらに4年度には35人と急増している。円高という追い風も手伝って、国際化は富山大学でも確実に進展しつつある。目下、授業料等の不徴収制度や単位互換制度など、諸君の外国留学（研修）を円滑にする諸制度が整備・充実されつつある。これらを大いに活用してもらいたいものである。

外国からであろうと、日本からであろうと、外国への留学はそれ自体、貴重な経験であり、〈ロバ〉が〈ラバ〉に成長する機会を与えてくれるものと確信する。どうか上記のイギリスの諺を銘記され、諸君には是非とも〈ラバ〉にまで育て帰国して欲しいものである。

++++ 留学生指導相談室から ++++

21世紀に向かって、教育の国際交流とりわけ留学生を通じての交流は、我が国と諸外国との相互の教育、研究水準を高めるとともに、国際理解、国際協調の精神の醸成及び推進に寄与するところでもあります。

本学としても、このような精神で留学生との交流推進が図られるべきと考えています。

本学の外国人留学生数は、1994年3月1日現在146人となり、今後も引き続き増加の見込みです。

留学生指導相談室では、修学・生活・健康・医療及び異文化等における諸問題について「相談業務」を行っていますので、何なりと相談においでください。

また、相談室では各種の事業を行っていますので大いに利用してください。また、外国人留学生の新入生には、「ガイドブック」を配付しますので、これも活用して充実した留学生活を送ってください。

なお、行事等は、留学生指導相談室等において掲示されますので、毎日、登校した時には、必ず見てください。掲示を見なかったという理由で異議等を申し立てることはできませんので十分注意してください。

《留学生指導相談室の行事等》（予定）

1. 日本語の課外補講
オリエンテーション：4月中旬
対象：レベル別（初級から中級まで）
技能別（漢字、作文、会話等）
期間：5月上旬より年間30週程度
場所：留学生相談室
2. 新入生に対するオリエンテーション
対象：学部1年生
期日：4月中旬
場所：人文・社会系共通教育棟1番教室
3. 什器等の生活用品のあっ旋（市内ボランティア団体との連携）
4. ホームステイの登録・あっ旋
5. 日本文化講座の開設
6. 日本各地（観光地など）の資料の収集
7. 海外留学、海外旅行等の情報収集及び提供
8. 海外での生活・勉学上の問題、地域社会への適応のための調査・研究
9. 留学生によるリレートーク
10. 卒業者名簿の作成
11. 相談室だよりの発行



◆外国人留学生資料

外国人留学生受入状況（1994. 3. 1 現在）

区 分	国 費		私 費		計		
	正規生	非正規生	正規生	非正規生	正規生	非正規生	計
人 文 学 部		4	6	5	6	9	15
教 育 学 部			1	2	1	2	3
経 済 学 部			42	6	42	6	48
理 学 部							
工 学 部			41	3	41	3	44
小 計		4	90	16	90	20	110
人 文 科 学 研 究 科	1		3	3	4	3	7
経 済 学 研 究 科	1	2	3		4	2	6
理 学 研 究 科	2	2	1		3	2	5
工 学 研 究 科	4	5	9		13	5	18
小 計	8	9	16	3	24	12	36
合 計	8	13	106	19	114	32	146

++++ 外国留学への奨学事業 +++++

本学では、日本人学生のために外国留学への奨学事業を行っています。希望の学生は、各学部等で掲示される「募集要項」に基づき必要な手続きをしてください。なお、当該募集は年1回しか行われませんので承知ください。

平成6年度富山大学国際交流事業基金
第3種外国留学への奨学事業募集の概要

1. 趣 旨

外国への留学を希望する本学の学生に対し、奨学のための学資金を給与する。

2. 応募資格

- (1) 富山大学に在籍する学生（研究生、聴講生を除く）で、平成6年度中に自費で外国への留学を決定（予定も含む）している者とする。ただし、当該学資金を給与された者は除く。
- (2) 学業成績が優秀であること。
- (3) 留学期間が、3ヶ月以上であること。

3. 支給学資金額

学資金として10万円を限度として支給する。

4. 支給方法

学資金は、原則として渡航時に一括支給する。

5. 募集人員 若干人

6. 申請手続

学資金を希望する者は、次に掲げる書類を各学部担当係に提出する。

- (1) 申請書
- (2) 受入れ大学等からの受入れを承諾する文書
- (3) 前年度の学業成績証明書

7. 提出期限

平成6年5月13日(金)まで（各学部担当係へ）

8. 選 考

選考は、富山大学国際交流委員会が行い、その結果は所属部局長に通知する。

9. 報告書の提出

奨学生は、帰国後速やかに派遣留学生に関する報告書を学長に提出する。

学生部 だより

厚生関係の諸手続案内

1

日本育英会奨学金

○ 次に該当する者は、至急、各学部の窓口それぞれの届け出を行ってください。

- 高校又は大学等において日本育英会奨学生であった者。

提出書類 : 在学届

- 高等学校において日本育英会第一種奨学生採用候補者として決定している者。

提出書類 : 進学届

○ 奨学生の募集について

出願資格 **第一種奨学金** 人物・学業ともに優れ、経済的理由により著しく修学困難な者。

第二種奨学金 人物・学業ともに優れ経済的理由により修学困難な者。

併用貸与 人物・学業ともに優れ、第一種奨学金の貸与を受けることによってもなお、その修学を維持することが困難であるとみとめられる者。

種類 **第一種奨学金** 無利子である。また奨学金返還特別免除制度がある。
第二種奨学金 卒業後の返還金は年3%の利子がつく。

貸与月額 自宅通学者 35,000円

自宅外通学者 41,000円

(第一種, 第二種とも同額)

募集時期	学部1年1次	4月中頃
	学部2年以上	
	大学院	
	学部1年2次	9月中頃

以上のとおり、募集を行います。なお、願書の配布、説明会、出願締切日等の詳しい日程については、各学部の掲示板でお知らせし

ますから注意してください。

2 地方公共団体及び

民間育英団体の奨学制度

日本育英会のほかに地方公共団体・民間育英団体の奨学制度があります。

大学を通して募集を行う育英団体については各学部の窓口の掲示板でお知らせしますが、大学を通さないものもありますので、希望者は、出身地の教育委員会、市町村役場等へ問い合わせてください。

なお、募集時期のほとんどは4~5月頃に集中していますので留意してください。

3

学生旅客運賃割引証(学割)

学割は、JR会社線の片道の営業キロが100kmを超える区間を、正課教育、課外活動、帰省等を目的として旅行しようとするときに交付を受けることができます。

交付枚数 1人年間約10枚

有効期間 交付の日から3か月

割引 普通運賃が2割引

申込受付 入学式の日から受け付け、発行は原則として申し込みの翌日以降になります。

申込先 各学部の窓口

4

通学定期乗車券(通学定期)

通学定期は、通学のため市内バスやJR会社線等の同一区間を乗車する場合、各学部の窓口で通学証明書の交付を受けることにより購入できます。

申込受付及び申込先は、前記の学割申込みと同じです。

各種奨学団体の内容について（主なもの）

設置者	団体名	種別	月額	出願資格	募集方法
地方公共団体	富山県奨学資金	貸与	35,000円	富山県に居住する者の子弟	各学部で募集 (出願は出身高校経由)
	石川県育英資金	〃	32,000円	石川県に3年以上居住する者の子弟	各学部で募集
	福井県奨学育英資金	〃	28,000円	富山県に居住する者の子弟	〃
	富山市奨学金	〃	22,000円	富山市に居住する者の子弟	直接当該団体に申し込む
	富山県上市町奨学金	給与	5,000円	上市町に居住する者の子弟	〃
	富山県魚津市奨学金	貸与	28,000円	魚津市に居住する者の子弟	〃
民間育英団体	吉田育英会	〃	(自宅) 41,000円 (自宅外) 51,000円		各学部で募集
	交通遺児育英会	〃	(一般) 40,000円 (特別) 50,000円	道路における交通事故が原因で死亡した者の子弟	〃
	三谷育英会	給与	36,000円	石川, 福井, 富山県出身者	〃
	富山第一銀行奨学金	貸与	(自宅) 35,000円 (自宅外) 41,000円	富山, 新潟, 石川, 岐阜県の富山第一銀行店舗所在地の出身者	〃
	さねよし賞吉奨学金		(大学院) 40,000円	工学系の大学院生	工学部で募集

※ このほかにも、各種の奨学金がありますので、詳細は厚生課又は、各学部の窓口へ問い合わせてください。

5

アルバイト・家庭教師のあっ旋

経済的理由等でアルバイトを必要とする学生に対してアルバイト及び家庭教師をあっ旋しています。(新入生については、入学後1カ月間はあっ旋を行っていません)

詳細については、学生部入り口の掲示板に掲示してあります。不明な点については、学生部厚生課まで問い合わせてください。

6

アパート・下宿・間借りのあっ旋

大学周辺の下宿等の紹介は、富山大学生生活協同組合（以下「生協」）が行っています。

下宿等の紹介希望者は、大学食堂ホールに掲示してある「下宿・貸間紹介カード」の中から希望する部屋を探してください。

申し込み受付は、生協2階事務室で行っていません。

7

富山大学学生健康保険

本学には、富山大学学生健康保険組合があり入学手続きの際に組合費（1年分1,200円。従って、学部学生の場合は4,800円。）を納めて組合に加入しています。

この保険は、病気やケガ（歯科を除く）の治療に要する経済的負担を、相互に救済するものです。

具体的には、病院（接骨院）の窓口で支払った自己負担金を本組合に請求すると、後ほどその負担分が給付されます。

（注意事項）

- ① 治療は、必ず社会保険（国民健康保険、職域保険、国又は地方公務員共済、船員保険など）による診療とします。
- ② 1人当たりの年間総給付額は、55,000円までです。

8

学生教育研究災害傷害保険

この保険は、大学生が教育研究中に受けた災害・傷害に対して救済する全国的な制度であり、本学学生は入学手続きの際に保険料を納め加入しています。

この保険は、次のような状況下で生じたケガについて、入院日数や通院回数により保険金が給付されるものです。

- ① 講義や実験・実習中。また指導教官の指示により授業の準備や後始末を行っている間。図書館や資料室などの学習中。
- ② 大学の主催する行事に参加している間。
- ③ ①②以外で大学の教育施設内にいる間。
- ④ 大学施設以外での課外活動の間（大学に届け出た活動に限る。なお危険の伴う山岳登山やハングライダーなどの活動は除く）

詳しくは、入学手続き時に配布しました「保険関係ファイル」を見てください。また、不明な点は、学生部厚生課保健係又は各学部の窓口にお問い合わせください。

就職活動の準備のために

来春卒業予定の学生の皆さん、卒業後の進路について種々お考えのことと思います。

昨今の経済事情の影響により、今春の卒業生には大変厳しい就職戦線となりましたが、企業では、厳しい就職環境の中から採用した人材でありますから、学生の皆さんをより大きい期待を持って迎えるものと考えます。

また、現在の経済事情は急激に好転するとも伝えられていません。今年も学生の皆さんには、厳しい就職環境が続くものと考えられます。

これから、就職活動の準備を進める方は、出来るだけ早く多くの情報を集め、自身のライフスタイルを定め、最適な職業に着かれるよう期待します。

平成6年度就職協定

就職協定を知っていますか？

この就職協定は、学生の皆さんの就職活動が、学業に支障を来さないよう秩序ある形で行われ、かつ、適切な職業を選択する公平な機会が得られるようにするために決定・申し合わせが行われたものであり、昭和28年から開始され40年の歴史を経ています。

学生の皆さんも、この趣旨を十分理解の上、就職活動を行うようにしてください。

平成6年度の就職協定期日は次のとおりです。

- ・求人票の受理 6月1日(水)
- ・求人票の公示開始 7月1日(金)
- ・採用選考開始 8月1日(月)前後を目標として、企業の自主的決定とする。
- ・採用内定開始 10月1日(土)

キャンパスウォッチング

埋 没 林

名誉教授

藤 井 昭 二

理学部と県営球場の間に2本のメタセコイアの大木があり、その下に小屋掛をして、魚津の埋没林の樹根がおかれている(旧地学教室跡)。

この樹根は1930年に魚津漁港改修工事の際発掘されたものの一つである。漁港周辺の汀線付近に樹根のあることが地元の人に知られていた。

魚津埋没林は杉が多く、一本の木の樹根の直径が10m近くあり、胸高直径も1~3mもある巨木が多く発掘され、地盤沈下を例証するものとして国の天然記念物、また1954年には特別天然記念物として指定されている。

1988年に特別天然記念物の指定地域をかする道路ができるため、事前調査が行われ、多くの貴重な資料が得られた。1954年にできた埋没林博物館が改修され現在みる博物館が1992年に開館された。

形成の年代は、発掘当時は「5000年より若からず、1万年より古からず」とされたが、樹根の下から縄文後期の土器が発見されている。さらに、炭素14の年代測定法により、プールに保存されている樹根の先の年代が1960±70年前という値が知られ、若くなったことに地元の人々は驚いたようである。その後、上の泥炭層の年代が1750±90年前であることがわかった。1988年に30×10×3m³の発掘作業が行われ12の材および泥炭についての年代が測定され、材の年代はすべて1760~1350年前の間におさまっていることが明らかになった。

発掘当時は地盤沈下の例証として天然記念物、特別天然記念物とされたが、杉は普通の所では直根であるが、魚津埋没林の杉は見られるように盤根錯綜して横に広く根はりをしている。このこと

は1988年の発掘でも確かめられた、当地域は扇状地末端で厚くよく締った礫層からなり、地盤沈下は考えられず、また地層が固いため根が真直に伸びられなかったことを示している。

現在気候変動による、弥生期の海退に伴う海水準の低下時期に形成されたものとしている。

この樹根については、当時の魚津中学校の山家基治教諭、富山高等学校石井逸太郎教授(富山大学名誉教授)、今村外治教授(広島大学名誉教授)らの研究によって世に知られた。

その中の一つが魚津から海路・富岩運河を通り、運河から高等学校正門までトロッコにより運搬されたものである。大学の五福移転に伴い、蓮町から五福までダンプトラックで運搬され、現在地におかれ、雨露にさらされていたが、屋根をかけられ、現在にみられるようになった。

1992年に魚津埋没林博物館の新装となり、ぜひ一見されたい。また入善沖には大陸棚が陸であったことを示す海底林が1980年代初めに発見されているがその水深20~40mと深いため海底林をみる事ができない。



▽▲▽▲▽ 学園ニュース編集委員 ▼▲▼▲▼

学生部長	浜	谷	正	人
人文学部	中	村	雅	之
〃	岩	井	瑞	枝
教育学部	呉	羽		長
〃	原	田	嘉	昭

経済学部	伊	藤	格	夫 (顧問)
〃	長	谷	川	隆
理学部	広	岡	公	夫
〃	鳴	橋	直	弘 (顧問)
工学部	女	川	博	義
〃	長	谷	川	淳